

令和 8 年 9 月広報委員長会議

日時 令和 8 年 9 月 2 日（水）午後 1 時30分

場所 生涯学習センターけやき 3 階視聴覚室

【令和 8 年 8 月千葉豪雨、北陸地方の記録的大雨等について】

8 月13日から14日にかけて、千葉県において、今年 5 月に気象庁が警報等の防災気象情報の運用を変更して以降、初めての「レベル 5 大雨特別警報」が発表され、線状降水帯が次々と発生し、記録的な豪雨となりました。また、8 月27日には石川県と富山県に、30日には福井県に「レベル 5 大雨特別警報」が発表され、記録的大雨により、これらの地域では大規模な浸水・冠水被害が発生しました。その他にも全国各地で、観測史上最大雨量を記録するなど、大雨による被害が相次いで発生しています。

これらの大雨によりお亡くなりになられた方々に謹んでお悔やみを申し上げますとともに、被害を受けられた皆さまに、心よりお見舞い申し上げます。

国内の大雨のほかにも、中国・ネパール国境で発生した、氷河の崩壊が原因とみられているすさまじい土石流や、この夏に欧州を覆い、数多くの死者を出した異常な熱波。いずれも、地球規模での気候変動の影響であると考えざるを得ません。

今夏に各地で発生した災害を受けて、本市においても起こりうる災害として認識しており、改めて防災対策を見直し、備えを再確認することが重要と考えています。

【令和 8 年熊本地震の被災地支援について】

本市では、令和 8 年熊本地震により甚大な被害を受けた被災者を支援するため、8 月11日を「熊本県民応援デー」と題し、この日の天守閣入館料相当額の2,469,410円を、市と天守閣の指定管理者である一般社団法人小田原市観光協会で半額ずつ負担し、8 月25日に熊本県への被災者支援金として寄付いたしました。

また、大きな被害を受けた熊本城に対する復旧支援として、お盆休み期間中、入館料額が最も多かった 8 月14日の小田原城天守閣入館料相当額の2,472,370円を、市と一般社団法人小田原市観光協会で半額ずつ負担し、熊本市に寄付することを計画しています。

併せて、熊本城災害復旧支援を目的として、8 月 1 日から、小田原城天守閣と歴史見聞館（NINJA 館）に募金箱を設置しており、お預かりした募金を、月に 1 回程度、熊本市にお送りする予定です。

さらに、応急対策職員派遣制度に基づく神奈川県からの依頼に応じ、8 月12日から18日までは、り災証明書受付業務等に従事するため、8 月31日から 9 月11日までは、被災家屋の被害認定調査業務等に従事するため、資産税課職員各 1 名を熊本市に派遣しています。今後も、県からの依頼に対し、都度対応してまいります。加えて、自宅の全壊などにより居住困難になった方を対象とした市営住宅の一時提供について、神奈川県から依頼がありましたので、本市の市営住宅 3 戸を、家賃及び敷金を免除し、提供することといたしました。被災地支援のための義援金については、市役所本庁舎 2 階の総合案内や各地域センター住民窓口などに募金箱を設置し、受け付けており、お預かりした義援金は、日本赤十字社を通じて被災地へお届けします。

【ふるさと納税における新たな取組について】

本市では、今年度からふるさと納税の取組を強化していますが、二つの新たな取組をご紹介します。一つ目は「ご当地つり草」です。これは、大雄山線の車両内に設置された「ご当地つり草」に、寄付者のメッセージを掲出できるという返礼品で、伊豆箱根鉄道株式会社と南足柄市との連携で実現したものです。その昔、大雄山最乗寺の霊木を使用し、魔よけの効果もあったという小田原ちょうちんをモチーフにした「ご当地つり草」を設置していますので、大雄山線をご利用の際には、ぜひお探しいただければと思います。二つ目は「現地決済型ふるさと納税」です。これは、旅行先での食事や宿泊、体験等の支払いを手軽にふるさと納税に切り替えることができる仕組みです。本市を訪れた観光客の皆様、ふるさと納税を利用したお得な観光の提供に寄与することからも、飲食、宿泊、体験等の事業者呼びかけ、順次導入してまいります。これからのふるさと納税は、単に返礼品競争ではなく「応援したいと思われる自治体」であることが、より重視されるものと考えています。本市が持つさまざまな価値をしっかりと発信し、共感していただくことで、より多くの方に「応援したい自治体」として選んでいただけるよう、引き続き取組を強化してまいります。

【城下町おだわらツーデーマーチについて】

本市最大のスポーツイベント「城下町おだわらツーデーマーチ」について、今年度は、11月21日（土）と22日（日）の 2 日間で開催いたしますが、「食べる、映（ば）える、巡る」をテーマに、「食べ歩き」や「映（ば）えスポット巡り」といった要素を加え、コースを一部リニューアルしています。

また、特別企画として、昨年度と同様、観光ガイド付きの集団ウォーキングと、大人からこどもまで、車椅子利用の方もどなたでも気軽におさんぽ気分以小田原城周辺を歩く「みんなでおさんぽラリー」を実施いたします。そして、今年度も、小田原ならではの食や食文化を発信するイベント「ローカルフードマルシェ」を併催する予定です。

参加申込みは9月30日（水）までで、当日申込みはありません。多くの方のご参加をお待ちしています。ツデーマーチの開催に当たっては、例年、一部の自治会の方々に給水所の運営等でご協力をいただいています。この場をお借りし、改めてお礼申し上げます。皆様のご協力なくして、この大会の開催は実現いたしません。今年度も何卒ご協力をいただきますようお願いいたします。

【第9回国際忍者学会大会（小田原大会）について】

今年9月12日（土）・13日（日）に、三の丸ホール小ホール及び小田原城址公園内において、「第9回国際忍者学会大会」が開催されます。この大会は、国内外の専門家をはじめとする多くの関係者等が参加し、忍者に関する研究成果を発表する貴重な場となっており、これまで、滋賀県甲賀市や島根県松江市など、忍者にゆかりのある地で開催されています。

今回は「風魔をめぐる忍者の虚実」をテーマに、北条氏を陰で支えた風魔一党と呼ばれる忍者集団が活躍したといわれる地・小田原での開催となりました。

9月12日（土）は小田原城天守閣特別館長・諏訪間順氏による基調講演や風魔忍者の研究発表等が、9月13日（日）は小田原城址公園内を巡る巡検が予定されています。なお、12日（土）は、一般参加の申込みを受け付けていますので、ぜひ多くの皆様にご参加いただきたいと思います。

この大会を通じ、小田原の歴史と文化を国内外へ発信し、地域の魅力を更に広げていきたいと考えています。

【結び】

まだまだ厳しい暑さが続くことが予想されています。皆様方におかれては、引き続き、熱中症予防に十分ご注意ください、体調管理にはくれぐれもご留意いただきますようお願いいたします。